

京極町



晩秋の秀峰

写真提供者：大橋美貴子さん

- 2
ページ 9月定例会の主な審議内容
平成28年度 **決算認定**ほか
- 10
ページ **委員会視察レポート**
- 12
ページ **ズバリ聞く! 京極町のいま・これから
一般質問**
- 14
ページ **議会探検隊 No.2**

議会に関する情報は、
町のホームページでも
公開しています。



京極町HP



ゆうくん

すいちゃん

決算質疑

町のお金

平成29年
第3回定例会
9/11-9/15

平成29年第3回定例会は9月11日に招集され、会期を9日間と決めたと、諸般の報告、行政報告、監査報告、各委員会所管事務調査報告、報告1件、承認2件、同意2件、条例改正1件、補正予算3件、その他議案3件、意見案1件、平成28年度各会計決算認定6件を審議し、15日閉会しました。

また、各会計決算の認定審査は、第3回定例会で決算特別委員会にそれぞれ審査が付託され、会期中の9月13日に特別委員会を開催し、その審査結果を村上委員長から議会に報告し、認定されました。

小規模土地改良事業の補助内容は

Q 後藤委員 小規模土地改良事業は、町が事業費の10%を補助する事業で、成果報告書の事業内容に明渠排水と農道側溝が記載されている。そのほかのメニューはあるのか。

答 加藤産業課長 小規模土地改良事業の明渠排水と農道側溝については、平成28年度に行われた事業として記載しています。

農業者個人または法人が補助事業以外で業者に発注した土地改良事業に対して10%補助することになっていきますので、土地改良事業を補助を使わずに実施した場合は、この小規模土地改良事業の補助メニューに合致することになります。

Q 後藤委員 この事業は10%の補助となつているが、国や道の補助工事であれば最低でも3割が5割負担で、あとは町と個人が半分半分の負担となつている。そのような観点から、町の補助率10%をもう少し上げる予定はないのか。

答 加藤産業課長 現在、小規模土地改良事業は10%の補助ですが、今年度より暗渠管を口ポット洗浄機で洗浄する場合は、30%に上げて対応しています。その他についても今後検討していきたいと考えています。

京極温泉の盗難防止対策は

Q 渡邊委員 京極温泉で以前盗難事件があつたが、盗難防止

の防犯カメラは設置されたのか。

答 榎本企画 振興課長 防犯カメラは業者に発注していますが、設置日はまだ決まっています。防犯カメラは外に3台、中に1台、計4台設置する予定です。



Q 渡邊委員 昨年も要望したが、脱衣所にある鍵付きロッカーを、受付の職員から見える場所に移動してほしいが。

答 榎本企画振興課長 脱衣所のロッカーは貴重品だけでなく、衣服の盗難対策としても利用しているため移動はしていません。また、温泉と相談し、「貴重品等は

議員がチェック!

どう使われた?

必ずここに入れて鍵をかけてください」と張り紙をするなどの啓発に努めています。

職員研修の内容は

Q 中村委員 職員研修事業として、さまざまな研修に参加されているが、研修センターの研修内容は、より実りある研修をしていただきたいと思います。どうですか。

答 小林総務課長 平成28年度は研修センターの研修に14名を派遣しています。主に新任の管理職・係長・課長の管理能力の研修で、昇級時にできるだけ早く管理能力を身につけるための研修に7名、その他に力を入れているのが税務と徴収の研修で、残りの7名を派遣しています。

外から京極町を見るということは大事なことだと思しますので、みずから先進地等の研修について行く職員について支援する、啓発するということを行っていきたいと思います。

海外・国内研修の状況は

Q 中村委員 海外・国内研修事業について、平成24年から28

年度は実績なしと記載されている。このことについての考えは。

答 榎本企画振興課長 この事業は、平成23年度に3名を派遣して以来実績はありません。今年度の予算特別委員会でもこの要綱自体が使いづらいものになっているのではないかと指摘を受け、今年度中に要綱を直す方向で現在の事務的などところで進めております。

この事業は、年明けに実施したいという申し入れも来ておりますので、それまでに直るかどうかもまだ不明確なところはありますが、ご理解いただきたいと思います。

「男女共同参画基本法」の策定は

Q 中村委員 京極町として「男女共同参画基本法」を策定する

考えがないのか。第4次京極町総合計画では、男女共同参画基本法のことが多く書かれていたが、5次計画ではいつの間にか消えてしまった。男女共同参画基本法について教育長の考え方を伺いたい。

答 高橋教育長 男女共同参画等の計画については、教育委員会としてはまだ取り組んでいませんが、今後どういった形になるの

か、事務局で煮詰めていければと考えています。活動が広く広域的に地域づくりの一翼を担うという点では重要な事業であると捉えていますので、そういった考え方で進めていければと考えています。

土木費、設計変更の実情は

Q 菊地委員 以前にも土木費の設計変更について伺ったが、そのせいか建設課ではあまり補正がないように見受けられる。

そこで、前にも建設課長に「必要な設計変更であれば、それは随時行わなければならない」と話をしたと思うが、その設計変更の手続が面倒だとか厄介だとかと言って業者にサービス工事としてやらせているという事実があるのか伺いたい。

答 菊地建設課長 私が把握している中で、従前の部分については承知していませんが、現時点で設計を超えるような工事が必要になった状況で、業者にその部分をかぶってやっていただくとか、サービスをしていたかどうかといううなことはないかと確認しています。

平成28年度歳入歳出決算

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額
一般会計	45億3927万5000円	42億2193万7000円	3億1733万8000円
後期高齢者医療特別会計	4555万4000円	4553万6000円	1万8000円
国民健康保険事業特別会計	1億4709万3000円	1億4702万9000円	6万4000円
国民健康保険診療所特別会計	2億7808万7000円	2億7808万7000円	0円
水道特別会計	9959万7000円	9959万5000円	2000円
下水道特別会計	1億1459万4000円	1億1459万2000円	2000円

「決算認定」ってどういうこと？



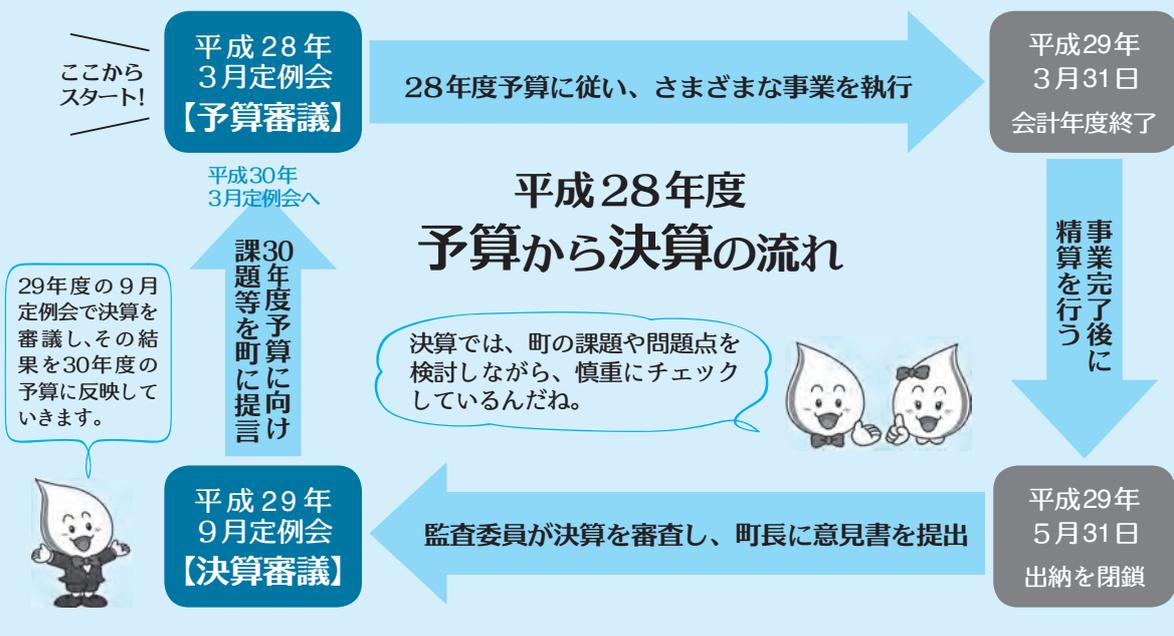
9月定例会では、平成28年度の決算が認定されました。
そこで「決算」について説明します。

「決算認定」とは

決算は、町の収入と支出の実績のことです。議会が1年間の決算を審査し、お金の使われ方が適正で、間違いがないかを確認し、認定することを「**決算認定**」と言います。

「予算審議」と「決算審議」

「予算審議」では、税金や町のお金の使い方を決定します。一方「決算審議」では、使われた結果を検討し、今後の予算編成や行財政運営に役立てるといふ大切な役割があります。



林業・木材産業の成長産業化に向けた 施策の充実・強化を求める意見書 (原案可決)

提出者 小柳光義議員

賛成者 中村厚子議員・四宮幸一議員・渡邊 昭議員・後藤尚浩議員

本道の森林は全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を進める必要がある。

森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。

このような中、道では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や次世代林業基盤づくり交付金等を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害の防止、木造公共施設の整備など、さまざまな取り組みを進めてきたところである。

また、国では市町村主体の新たな森林整備を進める財源として「森林環境税（仮称）」の創設に向けた検討を進めている。

今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、こうした取り組みをさらに加速し、地域の特性に応じた森林の整備を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

記

1. 市町村が継続的に森林の整備などを着実に進められるよう、「森林環境税（仮称）」を早期に創設すること。税制度の創設に当たっては、都道府県の積極的ななかかわりのもと、森林の整備はもとより木材の利用を含め幅広く活用できる仕組みとすること。
2. 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
3. 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みに対する支援措置を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年9月11日 北海道虻田郡京極町議会議長

【提出先】 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・国土交通大臣・環境大臣・復興大臣

報 告

健全化判断比率及び 資金不足比率 (報告済)

内容 平成28年度決算に基づく本町の実質赤字比率、連結実質赤字比率につきましては、赤字または資金不足が生じなかつたため比率として出てきません。

実質公債費比率は6・8%、前年度より0・1%増加しています。将来負担比率につきましては、実質的な負債額より負債額に充当可能な財源のほうが大きいかどうか比率としては出てきません。

専 決 処 分

京極町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正 (承認)

内容 健康保険法施行令等の改正に伴い、本町重度心身障害

者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例においても改正するものです。

主な改正は、高額療養費の算定基準額の改正に伴い、助成の対象となる、世帯あるいは個人が払う医療費の上限額の引き上げです。

京極町乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正 (承認)

内容 健康保険法施行令等の改正に伴い、本町乳幼児等医療

費の助成に関する条例においても改正するものです。

主な改正は、高額療養費の算定基準額の改正に伴い、助成の対象となる、世帯あるいは個人が払う医療費の上限額の引き上げです。



同 意

一般功労者の表彰 (同意)

・室井郁男氏

消防団員49年10月(うち団長8年、副団長6年、分団長2年8月、副分団長2年4月、部長3年4月、班長3年8月)の永きにわたり、本町の安寧秩序の保持に挺身、社会公共の福祉に大きく寄与し貢献しました。

・西 正昭氏

消防団員26年10月(うち分団長3年6月、副分団長1年5月、部長2年1月)の永きにわたり、本町の安寧秩序の保持に挺身、社会公共の福祉に大きく寄与し貢献しました。

・故富成弘子氏

保護司24年6月、女性団体連絡協議会会長12年、社会教育委員12年、青少年問題協議会委員10年などの要職に就かれ、社会公共の福祉の向上はもとより、青少年の健全育成に大きく寄与し貢献されました。



教育委員会教育委員の任命

(同意)

【内容】平成29年9月30日で任期満了により、選任されました。

横井 真由美 氏

任期は平成29年10月1日から平成33年9月30日までです。

条例の改正

京極町個人情報保護条例の一部改正

(原案可決)

【内容】個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)の改正に伴い、改正内容に即した文言整理等を行うため、本町個人情報保護条例においても改正するものです。

補正予算

平成29年度

京極町一般会計補正予算(第4回)

(原案可決)

【内容】予算の総額に、459万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を39億789万6千円とするものです。

歳入の内容

【地方交付税】 949万2千円減額

【国庫補助金】

・ 社会保障・番号制度システム整備事業費補助金

(住基分) 166万円追加

(国保分) 39万3千円

(児童手当分) 44万3千円

(広域連合・介護保険分)

(障害分) 7万7千円

(障害分) 97万2千円

・ 学校施設環境改善交付金

1324万1千円

【委託金】

・ 中後志京極工区土地所有者状況等調査委託金

19万9千円

【寄付金】 500万円追加

【町債】 540万円追加

・ 小学校改修事業

1330万円減額



図工教室 パネルヒーター更新完了状況

歳出の内容

【総務管理費】

・ ふるさと納税謝礼

275万円追加

・ ふるさと納税決済手数料

5万4千円追加

【戸籍住民基本台帳費】

・ 番号制度対応業務委託料

194万4千円追加

【社会福祉費】

・ 臨時職員賃金

76万8千円

・ 国民健康保険事業特別会計繰出金

56万2千円追加

・ 介護保険システム改修費負担金

11万7千円

(後志広域連合)

・ 北海道自治体情報システム協議会負担金

127万5千円

【児童福祉費】

・ 番号制度対応業務委託料

66万5千円

・ 児童手当等超過交付金返還金

11万2千円追加

・ 放課後児童健全育成事業超過交付金返還金

2万6千円

・ 幼稚園施設型給付費超過交付金返還金

255万2千円



【保健衛生費】

・ 国民健康保険診療所特別会計繰出金

624万2千円減額

【農業費】

・ 消耗品費

1万円追加

平成29年度
京極町国民健康保険事業特別
会計補正予算(第1回)
(原案可決)

内容 予算の総額に、56万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億5426万5千円とするものです。

歳入の内容

【一般会計繰入金】

・国民健康保険事務費分

56万2千円追加

歳出の内容

【総務管理費】

・番号制度対応業務委託料

56万2千円

平成29年度
京極町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1回)
(原案可決)

内容 予算の総額に、624万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を3億1853万8千円とするものです。



ひまわりクリニックきょうごく

歳入の内容

【一般会計繰入金】

・不採算地区運営費

624万2千円減額

歳出の内容

【医業費】

・一般職給

540万円減額

・期末勤勉手当

133万5千円減額

・寒冷地手当

7万2千円減額

規約の変更

北海道市町村総合事務組合規約の変更
(原案可決)

北海道市町村職員退職手当組合規約の変更
(原案可決)

北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更
(原案可決)

内容 構成団体の脱退に伴い、規約を変更するものです。

・研修手当 180万円減額

・共済組合納付金 163万8千円減額

・臨時職員等賃金 505万9千円追加

・退職手当組合納付金 105万6千円減額

・退職手当組合納付金 105万6千円減額

議会を傍聴しませんか?



次回の定例会は
12月中旬に開会予定です

京極町議会は年4回開催します。本会議の傍聴を希望される方は、庁舎2階の議会事務局で受け付けを行っています。ぜひ、傍聴にお越しく下さい。

議会活動日誌

議会議員は定例会や臨時議会のほか、各種研修や町内の行事などに参加しています。



出席者はこのように表記しています 議長 副議長 正副議長 全員・議員多数

7月

15日

丸亀市表敬訪問（役場）

16日

第28回名水の里きょうごくしゃっこいまつり
（ふきだし公園）

19日

議会だより編集委員会

21日

招魂祭（八幡神社）

8月

1日

議会だより編集委員会

2日

慶和園ふれあいの夕べ（慶和園）

6日

地域協働夏季セミナー（福祉センター）

10日

議会だより編集委員会

14日

第35回きょうごくふるさとまつり開祭式
（三条通）

きょうごくふるさとまつり町民総踊り（三条通）

15日

きょうごくふるさとまつり仮装盆踊り大会
審査委員（三条通）

17日

ふきだし公園内佛尊像例祭（ふきだし公園）

22日

議会広報研修会（札幌市）

25日

衆議院議員中村裕之君を励ます会政経セミナー
（小樽市）

26日

第21回JAようてい農業祭（俱知安町）

28日

丸亀市関係者事前研修表敬訪問（役場）
丸亀市関係者事前研修歓迎会（町内）

29日

行政視察（丸亀市議会 大前誠治議員）（役場）

後志町村議会議員研修会（ニセコ町）

30日

京極中学校3年生総合学習プレゼンテーション

31日

産業建設常任委員会所管事務調査
（町内一円）

総務常任委員会所管事務調査
（町内一円）

きょうごくプロジェクトとの懇親会（町内）

9月

1日～2日

京極八幡神社例大祭（八幡神社）

4日

産業建設・総務合同常任委員会
議会運営委員会

5日

敬老会（公民館）

6日

きょうごくプロジェクトの報告会（湧学館）

11日

平成29年第3回定例会開会

13日

決算特別委員会

15日

平成29年第3回定例会再開・同日
閉会

察レポート

- ①京極小学校改修工事
 - ②ふきだし公園の整備
 - ③京極温泉・名水プラザの管理状況
 - ④デマンドバスの導入
- この4項目を調査しました。



調査日 平成29年8月31日 (木)

総務常任委員会

京極小学校改修工事 改修工事では学校周辺の安全確保を

児童の安全確保のためスクールバスの動線を変更する工事について担当者から説明を受け、既存の物置撤去と駐輪場の移設、スロープと外灯の新設を確認した。

駐車場内のラインも新たに引かれていたが、バスの停車線がないことから乗降の際には特段の安全配慮に努めていただきたい。また、駐輪場の舗装についても自転車のスタンドで穴が空かないような工夫をしていただきたい。

改修工事により車両の流れが変わることから、登下校時を含め学校周辺の安全確保に引き続き留意されたい。



現場視察状況

京極温泉・名水プラザ 老朽化が進んでおり計画的な改修を

京極温泉は管理者の経営努力により入館者数と売上額ともに前年以上の実績となっている。

施設は老朽化が進んでおり、特に配管は漏水等の不具合が続いている。洗い場の計画的な改修については確認したが、その他の配管や機械設備についても計画的な改修に努めていただきたい。

名水プラザは管理者の経営努力により売り上げは維持しているが、施設の老朽化が見られることから、計画的な改修に努めていただきたい。

ふきだし公園の整備 WiFi等のさらなる充実を

WiFi設備は道の駅側と湧水口側に各1カ所設置しているが利用できる範囲が限られているため、設備の増設等を今後検討していただきたい。

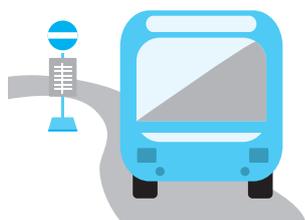
今年度整備した、情報発信等カメラについても道の駅側と湧水口側に各1カ所設置している。管理棟に設置しているモニターを見学し担当者から説明を受けたが、道の駅側で樹木や枝の影響により見通しの悪い範囲があったことから、枝打ち等で改善を図っていただきたい。今後は役場との接続を計画しているとの説明があったが、映像データの利用や保管などにはプライバシーの関係にも十分配慮した運用を心がけてほしい。

また、公園内にある看板の一部で老朽化が見られた。観光客に気持ちよく滞在していただくためにも、看板等施設の状況確認と更新を要望する。

デマンドバスの導入 運行までの具体的なスケジュール提示を

デマンドバスの導入について担当者から近隣町村の運行状況等の説明を受け、デマンドバスとコミュニティバス、直営と民間委託、有料と無料など各町村のさまざまな実態が分かった。

課題として検討してから数年が経過していることから、運行に向けた具体的なスケジュールを示していただきたい。また、町民への周知や意見を反映できる取り組みも実施していただきたい。



委員会視

- ①農作物の作況状況
 - ②農地整備事業(道営農業農村整備事業)
 - ③ようてい森林組合製材工場の稼働状況
 - ④宅地造成工事の進捗状況
- この4項目を調査しました。



調査日 平成29年8月31日(木)

産業建設 常任委員会

農作物の作況状況 人手不足解消のため就農支援を

各作物とも平年並みに推移し、平年作の収量が期待できる。

ただ人参については、反収が多いため施設の選別処理能力を超える搬入となり、受入制限をせざるを得ない状況である。価格については、昨年を除き、平年をやや下回っている。



園芸施設栽培の視察

今回、農業次世代人材投資事業(経営開始型)と経営体育成支援事業を活用し、新規就農された方のトマトハウスを視察させていただきました。

4棟のハウスにはトマトが実っていたが、手作業で収穫するため人手が足りず困っているとのこと。農家戸数の減少を防ぐためにも新規就農支援は重要であり、問題解決のため関係機関とも協力し、対策を講じていただきたい。

宅地造成工事の進捗状況 今後も安全施工を

平成24年度造成に続くもので、8区画を整備し、分譲は平成30年度を予定しているとの説明を受けた。

進捗率は20%であることから、今後も安全に配慮した施工に努めていただきたい。

ようてい森林組合製材工場の稼働状況 大型製材機械導入により良好

平成28年度に整備した製材工場は大型製材用機械の導入により、1日の処理量は昨年に比べ10%以上増加しており、計画どおりの実績となっている。

製材品とチップは大半を道森連に販売していることから経営の安定化も図られている。今後も整備計画に基づく稼働と新規労働者の確保に努めていただきたい。



製材工場の視察

農業整備事業 大雨の対策を

畑地帯総合整備事業(担い手育成型)の、今年度施工中の京極地区62工区(字北岡)で、区画整理工と整地工3・2haの現状を確認した結果、大雨が降ったときの排水対策を講じていただきたい。また、畑と町道に段差が生じることが懸念されるので、対応を検討していただきたい。

なお、工期中は工事車両が多く行き交うことから、事故等が起ころぬよう安全対策の徹底を要望する。



道営事業の視察

一 質 問

地域資源である林業の育成は

町長

森林経営計画に沿って伐採・造林し、木材の安定供給につなげます

問

京極町総合戦略には、農業の重点戦略と関連施策は盛り込まれていますが、林業は「林業基盤整備の推進」のみ、「施策の概要」においては路線価格並びに立木売買価格が上がるような路網整備を行い、他地域、産地より高価格で取引できるような基盤整備を行う」という記述だけです。地域資源を生かした産業の育成を目指すならば、町の総面積の78・2%を占める森林資源をどのように生かすのか、認識を聞かせてください。

答

山崎町長 森林資源の循環利用を考えた場合を中心となるのが人工林（1890畝）で、おおよね年間37畝の伐採・造林を繰

り返し、補助金等を活用しながら森林保護に努めているところです。

現在、町有林は平成14年度ごろよりカラマツの皆伐、跡地造林を随時実施し、現在に至ります。森林経営計画に沿って50年、60年かけて伐採・造林し、これらを繰り返すことで各林齢構成が均等になり、木材の安定供給につながっていくものと思っています。

問

林業の自給率は着実に上昇、政府は2020年には50%の数値目標を示しており、1990年に6・3%にすぎなかった34歳以下の従事者の構成比も20%超と予想されています。

北海道新聞によると、技術革新

で木材の活用幅が広がり大型建築の注文が増加しているとのこと。

ハイテクにより自動化等が図られ、若年層や体力のない女性でも作業につきやすくなっています。今後、森林組合にはさらなる援助を通してイノベーションの必要性を理解していただき、CLT技術導入を進めていくべきと考えます。

そのためには、森林づくりを担う人材の確保と育成が必要です。道は林業大学設立のための調査を開始、各地で誘致に向けた期成会も発足しています。京極町においても関係する業界とともに誘致に動くべきと考えますが、いかがですか。

また林業は、6次産業化の可能



鈴木敏行 議員

ズバリ聞く！ 京極町のいま・これから



人工林で50年、天然林で80年のサイクルで育成された木材は、市場へ運ばれます。

答

山崎町長 C L T技術の導入は、森林組合が経営の展開を

性が非常に高い分野です。全国に林業ベンチャーが起業され、厚真町でも起業された方がいます。挑戦に失敗はつきもの、京極町においては失敗を恐れる余り、前例にしばられ過ぎていないでしょうか、町長の見解を伺います。

考慮しながら判断していますが、組合と情報の共有化を図り、取り組んでいきたいと考えています。

人材の育成・確保について、現在、道は林業大学校などの人材育成機関の設立について検討しているようですが、内容は一切白紙のことです。林業大学校の設立は地方創生にインパクトがありますので、本町においても関係団体と連携して取り組んでいきたいと思っています。

6次産業化に関しては人手不足の問題があり、ようてい森林組合においても職員を募集するも充足数に至っていない、伐採現場職員も増員まで至っていないとのことです。起業家の育成に関しては、人手不足が解消されない限り困難な状況と考えています。

人口減対策と町政のPDCA(※)について

問

人口減少対策には特効薬はなく、他の自治体と横並びでは、対処はできません。職員、市民の危機感と問題意識の醸成、先進事例、失敗事例を体感することが重要と考えます。基本目標の中の

「31年度までに社会減ゼロ人、出生数23人」の目標は達成可能なのでしょうか。

総合戦略において「PDCAを回す」という記載がありますが、私の推測では「1年間で自分の仕事を振り返り、何に問題があり、どうして成功したのかをチェックしながら次の予算に反映する」という意味でのPDCAは回っていないかつたのだろうと思います。町長の見解を伺います。

答

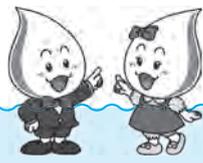
山崎町長 人口減対策について、限られた町職員で新たな施策に挑戦するには、施策の選択も必要です。危機感を持つて取り組み、先進地、失敗事例を体験するための研修も重要と認識しています。目標達成については、最近の出生率から非常に厳しいと認識していますが、引き続き目標に向かいたいと考えています。

PDCAが回っているかについては、私自身も十分ではないと認識しています。成果報告書も今後検証していくことになっており、あわせて今後さらに実施、努力していきたいと思っています。

(※) PDCA…P (Plan)・D (Do)・C (Check)・A (Action) という事業活動の「計画」「実施」「監視」「改善」サイクルのこと。



一般質問とは、議員個人が町政全般について町長等に



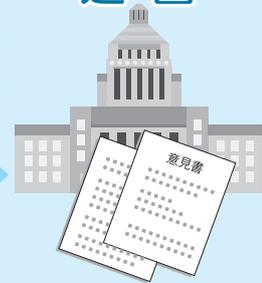
次の定例会は **12月中旬** 開会予定です

を伝えよう！”

町だけで解決できない場合は、道や国に意見書を提出します。
5ページも読んでね！



道・国



意見書を提出

本会議で審議 → 議決



町・町長

議会の議決に基づき
事業を執行



議会から
付託(※)

議会へ
報告

委員会ごとに、
提出された議案を
詳しく審査します



常任委員会



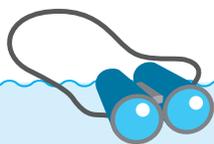
議会

執行された事業は議会が
チェックしています！

2～3ページの決算質疑も
ごらんください。

議会探検隊 次回もお楽しみに！

(※) 付託…議案の審査を本会議の議決に先だつて他の機関に委ねること。



議会探検隊

“議会のしくみ”
見てみよう!

町民のみなさんに議会を知っていただくため、議会についてわかりやすく紹介していきます。

キーワードは
“要望”



町民

議会に要望を伝える

直接議会に提出できます

町議会議員の紹介が必要です

請願

陳情

町に対する要望は、請願や陳情として町議会に提出することができます。



議員

議会で質問・質疑
請願の紹介



町長

議案を作成し、議会に提案



議会



わかるかな？

答えは、P.14-15の「議会探検隊」を読んでね！

Q 1

陳情と請願、紹介議員が必要なのは？

Q 2

委員会の「付託」ってどういうこと？

Q 3

町だけで解決できないときは、どうするの？

表紙写真を募集しています！

あなたの写真が議会だよりの表紙になります。

テーマは「京極大好き！」

京極の美しい風景、みなさんの笑顔、季節を感じる写真など、なんでも結構です。

詳しくは議会事務局（42-2111）まで。ご応募お待ちしております。



つい先日まで、見事な彩りを演出してくれた山々も一転して冬景色の準備に入り、改めて季節の移ろいの早さを感じる今日、この頃です。

10月中旬、長女

夫婦が数年振りに東京から帰省し、京極町の自然を堪能した2人は「この景観をもっと町外に発信すべき」との言葉を残し帰京しました。当たり前のように我々の身近にある自然が、都会に住む娘夫婦にとっては、何物にも変えがたいものに映ったようです。我が町には、まだまだ宝物があることに意を強くしたところで。

さて、「議会だより」リニューアル後の2号目をお届けします。町民皆様に読んでいただき、ともに考える紙面づくりを目指してまいります。何分にも素人集団の編集子達のため、皆様の満足が得られるまで今少し時間をいただきました。さらに皆様からの積極的なご意見等々をお待ちしています。

議会だより編集委員会
（副委員長 鈴木敏行）

委員長 四宮 幸一
副委員長 鈴木 敏行
委員 村上 敦
" 後藤 尚浩